

換気

大類環

とんとんとん、と段をなぞる
間違えないようにひとつひとつ
ちゃあんとしっかり見てたどる

広がるスカート
の長い裾に足がもつれて
滑って落っこちないように
腰に布のたばを手繰り寄せたら
一段一段よくみて下りる

たいらなところに降り立てば
ふと音がなくなる
煙草の匂いもざわざわとした声も
すつとひとたびミントが鼻に抜けたら
涼しきだけがみちる
しずかに
ひんやりしずかに涼しさは満ちる

チカチカ光るお店のなかと
しんと放りだされる夜とのあいだ
せり出した屋根の下にわたしはいる

とぷり、と潜れる水と
ふんわり軽い空気のあいだ
プールから息継ぎをする
その瞬間で一時停止したみたいなその接線に

同じように立っていた

きみのその足は

どこから漕いできたの？

私は雪のほうから

話せば長くなってしまった

どこからどんなふうにしたらいいかなと

考えているだけでふたり夜風で身を冷やしていた

東京にいていま私がここで

少年のごつ、すうっとたのしくゆれる鼻の曲線のこと

なんども盗み見では 空気をばかばか容れていること

20時47分 友だちの誰が当てられるだろう